

# かすかべ 議会だより

2020(令和2)年2月1日発行  
発行・埼玉県春日部市議会  
編集・広報広聴委員会  
<http://www.kasukabe-shigikai.jp/>

第58号

謹んで新春のおよろこびを申し上げます  
春日部市議会議員一同



令和元年度 銚子口獅子舞保存会と西金野井獅子舞保存会の獅子舞

(議席番号順)	中栗武小岩栄河山荒鈴木古山吉永滝鬼並今松佐水石大卯坂榛酒井	議	副	議
	川原久保谷井崎木村沢口田田澤丸木尾本藤沼川野月卷野谷上	員	議長	長
	信幹博一寛美洋一圭耕剛飛英裕敏安浩日友と武勝和英光			
	朗司也史弘美久進美利一作一稔鳳明史恵徳一一夫和子彦則博秀治			

令和2年1月1日現在  
人口 234,137  
男 116,163  
女 117,974  
世帯数 106,924

門松

## 主な内容

主な議案の紹介…………… 2～3 ページ  
審議結果…………… 4 ページ  
一般質問…………… 5～14 ページ  
閉会中の委員会活動…………… 15 ページ  
傍聴して一言…………… 16 ページ

# 令和元年度春日部市一般会計

## 補正予算（第5号）を可決

### 令和元年度一般会計 補正予算（第5号）を可決

補正予算の総額は、歳入歳出の総額にそれぞれ3億7637万7000円を追加し、歳入歳出とも744億6247万円とするものです。

#### ○歳出の主な補正内容

人件費の補正は、定期人事異動等に伴う給与費の減や共済組合負担金が当初見込みより減となったことに伴い減額となったものです。

交通安全施設設置・管理事業342万3000円の増および街路灯設置・管理事業83万円の増は、道路反射鏡や街路灯などの修繕や設置箇所が当初見込みよりも増となるため増額するものです。

通知カード・個人番号カード交付事業483万8000円の増は、マイナンバーカードの交付促進に向けて交付体制を整備するものです。

更生医療支給事業4638万9000円の増は、支給件

数が当初見込みよりも増となることに伴い増額するものです。

特定教育・保育施設等運営費補助金1008万2000円の増は、対象施設の増加や補助基準額の改定により増額するものです。

ひとり親家庭等医療費支給事業1140万円の増は、支給件数が当初見込みよりも増となることに伴い増額するものです。

公園維持管理事業1510万3000円の増は、公園の施設や樹木に対する台風被害対応のため増額するものです。

通信指令事業2億8561万5000円の増は、経年劣化した通信指令装置の部分更新を実施するため増額するものです。

文化財保護事業2023万6000円の増は、旧宝珠花小学校の跡地活用に向けた設計を行うため増額するものです。

#### ○歳入の主な補正内容

障害者医療費負担金2315万8000円の増および障害者医療費（更生医療）負担金1157万9000円の増は、更生医療支給事業の増額に対し交付されるものです。

ひとり親家庭等医療費補助金513万円の増は、ひとり親家庭等医療費支給事業の増額に対し交付されるものです。

財政調整基金繰入金2億778万5000円の増は、今回の補正予算における収支を調整するものです。

#### ○そのほかの補正内容

繰越明許費は、母子保健事業917万8000円ほか7事業について、年度内の執行が困難であることから繰り越しをするものです。

債務負担行為補正は、主に令和2年4月1日から予算を執行する契約のうち、令和元年度中に入札を実施する業務委託などについて債務負担行為を設定するものです。

【賛成多数で原案可決】

## 討論

マイナンバー制度自体と超過勤務手当の未払いを指摘し反対（日本共産党）

この補正予算には2点問題があり、賛成できません。

第1に、通知カード・個人番号カード交付事業、いわゆるマイナンバーカード交付に483万8千円が計上されていることです。2016年に導入されたマイナンバーカードの普及率は、ことし3月時点で全国で12・8%にすぎません。本市でも7月時点での普及率は約15・9%で、大変低い状況です。このまま来年から始まるカードの電子機能の更新が進まない場合、制度自体が行き詰まる可能性があると言われています。そもそもマイナンバー制度は国民にとってメリットがほとんどないばかりか、情報流出の懸念、国家による情報の集積、巨額の公費の投入など、制度自体が極めて有害なもので、廃止すべきものです。以上のことから新たな税金をつぎ込むことには到底賛成できません。

第2は、人件費です。6756万2千円の減額補正です

が、この中には生活支援課の未払い超過勤務手当の2年間で1019万円、遅延損害金として136万円も計上されています。しかし、これは未払いが発覚し、組合が交渉を申し入れた昨年11月27日以前の2年間分しか計上されていません。平成23年から残っている資料に基づき、全額支払うべきです。第三者による公平・公正で客観的な調査を行い、最終報告では責任の所在を明確にし、それに見合う対応を求めます。

今後、このような法令違反は根絶し、職員が健康で市民のために生き生きと仕事ができる市役所にしていくことを強く求め、反対します。

**財源の有効活用と、将来を見据えた財政運営に努めることを要望し賛成（新政の会）**

景気はこのところ弱さも見られますが、雇用、所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されています。このような状況の中で、歳入においては、国庫支出金などを活用し、一般財源について一定の負担軽減が図られて

歳出においては、人件費について人事院勧告や定期人事異動などに対し適切に対応したものであり、超過勤務手当についても事務の負担増に対し、適切な措置だと考えます。

民生費における更生医療支給事業や子ども医療費支給事業などの増加であります。利用状況や国の動向に応じた適切な措置であると考えます。

土木費における公園維持管理事業は、台風による倒木などの被害について早急に対応したことによるものであり、公園利用者や近隣住民の安全確保のため適切な対応と考えます。

消防費における通信指令事業は、通信指令装置の部分更新工事を実施することですが、市民からの緊急通報に迅速、的確に対応していくためには必要不可欠な措置であると考えます。

なお、今回の補正予算における超過勤務手当の未払いについても、適切かつ必要な措置だと考えます。今後は、法令にのっとり早期に対応していただくことを強く要望します。

最後に、今後においても限られた財源を有効に活用する

とともに、将来を見据えた財政運営に努めていただくことを要望し、賛成します。

**誠実な対応を期待するとともに、丁寧な説明を信じて賛成（前進かすかべ。未来の会）**

この補正予算に関しては歳入歳出とも適切な予算措置がされているものと考えますが、この中にはいわゆる残業代の未払い分が計上されています。

セブンイレブンジャパンでアルバイトやパート従業員の残業手当の一部が長期間にわたって支払われていないことが発表されました。未払い分は総額で損害遅延金を含め5億円近くに上ると見られ、創業当時からだった可能性もあるということ、セブンイレブン本部では記録が残っていない過去のものも含め、対象者に不足分を支払う方針です。

これに対して社長は記者会見において説明、謝罪を行い、自身の役員報酬の月額10パーセントを3カ月自主的に返上する形で責任をとっています。

こうした同様の事件に対し、民間企業の対応を見る中において、民間や市民の模範となる行政機関の対応はどうあるべきか、よく考えていただき

たい。加えて、今議会の一般質問で要望させていただいた残業代未払いの件に関する第三者調査会の設置によって、第三者の客観的な目による調査の実施についても誠実な対応の観点から実施すべきです。

この補正により増額される手当については、対象者に対して法令にのっとり早期に対応を図ることであり、理解いたします。今後は最終報告を取りまとめいく考えと聞いていますので、誠実な対応がなされることを期待するとともに、市民の代表である市議会に対しても、しかるべき丁寧な説明がされるものと信じ、本案に賛成します。

### 議員提出議案

#### 「あおり運転」に対する厳罰化とさらなる対策の強化を求める意見書

本年8月、茨城県の常磐自動車道で、男性が執拗なあおり運転を受けて車を停止させられ、容疑者から顔を殴られるという事件が発生しました。また、平成29年6月には、神奈川県内の東名高速道路において、あおり運転を受けて停止した車にトラックが追突し、

夫婦が死亡しています。こうした事件・事故が相次ぐ中、「あおり運転」をはじめとした極めて悪質・危険な運転に対しては、厳正な対処を望む国民の声が高まっています。

警察庁は、平成30年1月16日に通達を出し、道路交通法違反のみならず、危険運転致死傷罪や暴行罪等のあらゆる法令を駆使して、厳正な取り締まりに取り組んでいます。

いわゆる「あおり運転」に対する規定がなく、防止策の決め手とはなっていない。今後は、あおり運転の厳罰化に向けた法改正の検討や、更新時講習などにおける教育のさらなる推進及び広報啓発活動の強化が求められるとあります。

そこで、政府におかれては、今や社会問題化している「あおり運転」の根絶に向け、安全・安心な交通社会を構築するため、下記の事項について早急に取り組むことを強く求めます。

記  
1 「あおり運転」の規定を新たに設け、厳罰化については、危険運転を行った場合のみでも道路交通法上、厳しく処罰される海外の事例なども

参考としながら、実効性のある法改正となるよう、早急に検討を進めること。

2 運転免許更新時における講習については、これまでの交通教則による講習に加え、あおり運転等の危険性やその行為が禁止されていること及びその違反行為に対しては、取り締まりが行われることについての講習も行うこと。また、更新時講習に使用する教材や資料などに、これらの事項を記載すること。

3 広報啓発活動については、あおり運転等の行為が禁止されていることや、「あおり運転」を受けた場合の具体的な対処方法などについて、警察庁及び都道府県警察のホームページ、SNSや広報誌などを効果的に活用し、周知に努めること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。  
令和元年12月13日  
春日部市議会

衆議院議長 様  
参議院議長 様  
内閣総理大臣 様  
法務大臣 様  
国家公安委員会委員長 様

【公文一一致で原案可決】

# 12月定例会 審議結果

## 市長提出議案

(○:賛成 ×:反対)

議案番号	議案名 ( )は付託委員会名	審議結果	新 政 の 会	前 進 か す か へ 未 来 の 会	公 明 党	日 本 共 産 党	民 主 党	無 所 属
議案第98号	手数料の額の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定 (総務・建設・教育環境)	原案可決	○	○	○	×	○	○
議案第99号	職員の給与に関する条例等の一部改正 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第100号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正 (総務)	原案可決	○	○	○	×	○	○
議案第101号	特別職の給与に関する条例及び教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部改正 (総務)	原案可決	○	○	○	×	○	○
議案第102号	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第103号	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第104号	廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部改正 (教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第105号	市立小・中学校普通教室等エアコン整備PFI事業契約の議決内容の一部変更 (教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第106号	旧市立病院解体工事請負契約の議決内容の一部変更 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第107号	旧し尿処理施設解体工事請負契約の議決内容の一部変更 (教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第108号	緑中学校体育館外壁等耐震対策工事請負契約の議決内容の一部変更 (教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第109号	財産の取得(春日部消防署豊野分署災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車I-B型)の議決内容の一部変更 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第110号	財産の取得(庄和消防署災害対応特殊救急自動車及び高度救命処置用資機材)の議決内容の一部変更 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第111号	指定管理者の指定(春日部第1児童センター) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○	○
議案第112号	指定管理者の指定(庄和児童センター) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○	○
議案第113号	指定管理者の指定(道の駅「庄和」) (教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第114号	指定管理者の指定(市立中央図書館、市立武里図書館及び市立庄和図書館) (教育環境)	原案可決	○	○	○	×	○	○
議案第115号	令和元年度一般会計補正予算(第5号) (各委員会)	原案可決	○	○	○	×	○	○
議案第116号	令和元年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第117号	令和元年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第118号	令和元年度介護保険特別会計補正予算(第3号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第119号	令和元年度市立看護専門学校特別会計補正予算(第2号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第120号	令和元年度水道事業会計補正予算(第2号) (建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第121号	令和元年度病院事業会計補正予算(第2号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第122号	令和元年度下水道事業会計補正予算(第2号) (建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第123号	公平委員会委員の選任につき同意を求める [関根 金次郎 氏] (付託省略)	同意	○	○	○	○	○	○
議案第124号	教育委員会委員の任命につき同意を求める [秋山 早苗 氏] (付託省略)	同意	○	○	○	○	○	○
議案第125号	印鑑条例の一部改正 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○

## 議員提出議案

(○:賛成 ×:反対)

議案番号	議案名 ( )は付託委員会名	審議結果	新 政 の 会	前 進 か す か へ 未 来 の 会	公 明 党	日 本 共 産 党	民 主 党	無 所 属
議第20号議案	「あおり運転」に対する厳罰化とさらなる対策の強化を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議第21号議案	公立・公的病院の再編統合計画に関する意見書 (付託省略)	否決	×	○	×	○	×	×
議第22号議案	介護保険制度の充実を求める意見書 (付託省略)	否決	×	×	×	○	×	×
議第23号議案	太陽光発電施設の設置に関する法整備を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○



**惨敗の学力テスト結果を  
どう立て直すのか**



井上 英治  
議員

8月に公表された「令和元年度埼玉県学力学習状況調査市町村別結果」で春日部は、県内62市町村の中学3年生で43位と大変低い結果でした。その結果原因は一体どこにあるのでしょうか。「学力テストの結果が全て」との考えは取りませんし、テスト以外の才能を持つ子どもを育てるのも大切な教育の課題です。しかし、自分の子どもは学校の授業に付いていけないのか、順位順番はどうなのかという心配はあります。そこで以下伺います。①この学力テスト結果の教育委員会の受け止め方と原因②今後、順位アップをどのように図っていくか③進学校への市内中学校別進学者数

○学務指導担当部長

①一部の学力に関しては、改善点があると受け止めています。また、原因は、子どもたちの学習に対する姿勢、学校の体制や生活指導、教育委員

**災害ハザードマップと  
避難所マニュアルの充実を**



鈴木 一利  
議員

会のリーダーシップなど、さまざまな足りない部分があったと考えられます。②今後、より一層、学校、家庭、地域行政が力を合わせ、子どもたちが主体的に学べる生活の場教育環境を築くことが大切だと考えます。③市内公立中学校から、浦和高校へは、28年度9名、29年度10名、30年度3名。浦和第一女子高校へは、28年度7名、29年度9名、30年度13名。春日部高校へは、28年度36名、29年度28名、30年度27名となっています。

○風水害

このほか



学力テスト (イメージ)

近年の台風や豪雨災害などの災害は激甚化している傾向にあります。本市でも台風19号において避難勧告が発令されました。このような状況下では、最悪の事態を理解してもらうため、被害想定を公表していく意義は重要であります。そこで以下伺います。①来年改定予定の災害ハザードマップの主な内容②被害想定の大きい内水ハザードマップの取り組み③学校でのマイタイムラインを活用した防災対策授業の取り組み④各地域自主防災組織と連携した、より詳細な避難所マニュアルの改定について。

○市長公室長

①1点目に避難勧告等の名称変更と防災情報の伝え方を警戒レベルを用いた方法へ変更。2点目に河川洪水による浸水想定区域の見直し。3点目に家屋倒壊等氾濫想定区域などの情報追加を予定しています。

**免許返納をためらう方に  
温かい支援を**



今尾 安徳  
議員

②ハザードマップの改定に合わせ、現在市ホームページで公開している内水による浸水被害実績図についてもより見やすくするようデータ更新の準備を進めています。③小学生社会科副読本の中にマイタイムラインの内容を盛り込む予定です。④見直しに際しては、避難所の運営主体となる自主防災組織や地域の方々を交えた形で実施したいと考えています。

○学校給食について

このほか

免許返納をしたいと思っっているけれども、実際には病院に行ったりだとか、買い物に困難だとか、いろんな条件があつて返納をためらわざるを得ない方というのがいるのではないかと考えます。高齢者の方の事故の減少、また、そこに巻き込まれて実

際に事故に遭われる市民の安全安心の確保、その方に公共交通を利用していただくために誘導していく手段として、公共交通やタクシー券の補助などについて、私は前向きに検討していくべきではないかと思ひます。

春日部市の免許証返納を進めるに当たって、埼玉県警察本部のシルバースポーター制度の充実や、健康マイレージで高齢者の方がいつまでも元気な足で歩いていける健康づくりも大切ですが、高齢者の痛ましい事故、巻き込まれる市民の被害軽減のためにも、免許証の自主返納をためらう市民の背中をそっと押してあげる、春日部市として温かい制度をつくってほしいのではないかと考えます。

○市長

免許を返納された方への支援につきましては、今後の国の動向などを注視するとともに、現行の支援を継続してまいります。

このほか

○内水被害軽減に本気の取り組みを

## 防災対策について



小久保博史  
議員

10月12日(土)から13日(日)にかけて、川の氾濫など関東を中心に記録的な大雨をもたらしました。去年の西日本豪雨を超えるなど、国の対策の見直しを迫られる記録的な豪雨災害になった台風19号ですが、10月12日(土)の朝8時から自主避難者に施設を3カ所(あしすと・大池憩いの家・正風館)開放しましたが、それ以外の施設に自主避難をすることは可能だったのか伺います。

また、地元の話では、歩行者を使った方が近くの施設に避難したかったようですが、施設からは大池憩いの家に行きように言われ、やむを得ず地区の人が車で搬送したとの話もあります。

今後は、このような方々の対応はどのようにするのか伺います。

○市長公室長  
自主避難者のやむを得ない

状況によっては、施設管理者の権限により、3カ所以外の施設で受け入れることは可能であると認識しています。

ご指摘の事案については、報告を受けています。歩行者を使われる方が、まさに「自らの命は自らが守る」行動として、近くの安全な施設に避難していただくと認識しており、重く受け止めています。今回の事案を重要な教訓として、今後の避難所運営に生かせるよう、関係部署との連携を密にしていきたいと思います。

○防災教育について

## 台風19号から学ぶ避難所のあり方について



英明 滝澤  
議員

台風19号では「あしすと春日部」が早い段階で自主避難所として開放されました。ここは災害時にボランティアセンターの設置などの役割がある施設です。自主避難所にするのではなく、他の施設を開放すべきだったのでは。併せて、以下についても伺います。

①春日部市は福祉避難所として民間の福祉施設と協定を締結しているが、行政との情報伝達訓練を行っているのか②搬送訓練や受け入れ訓練を行っているのか③市は自治会に要援護者避難の支援開始の情報伝達を行ったのか④避難勧告など防災行政無線は言葉を少なくシンプルにした方が聞き取りやすいのでは。

○市長公室長

避難所の位置づけについては再考したいと考えています。そのほかにつきましては、①実施に向け調整を図っています②各地域で実施している自主防災訓練の中で、組織によっては搬送訓練等も実施しています。また、受け入れ訓練については、情報伝達訓練と同様に、施設と福祉部局、防災部局と連携し、実施に向け協議していきます③自治会等への情報提供のあり方について今後検討していきます④聞き取りやすいシンプルな文章や声のトーンなどを工夫し、緊急性の高い放送時には複数回の繰り返し放送を実施していきたいと考えています。

このほか

○一ノ割駅周辺のまちづくりと交番設置について

## 住民の命と暮らしを守る災害対策を



勝則 坂巻  
議員

10月の台風19号は、東日本各地で多くの犠牲者や、住宅などの建物に甚大な被害をもたらしました。

春日部市においても、人的被害が3人(いずれも軽症)、26カ所で冠水し、床上が22件、床下が457件の浸水被害が出ました。被害数で言えば県内1位で、決して「小さい被害」とは言えません。

台風の接近により13日午前1時10分に利根川が栗橋付近で氾濫危険水位に到達。国土交通省より「河川氾濫の恐れ・警戒レベル4相当」の緊急報メールが発信され、市の災害対策本部は避難所を開設。2時38分に「避難勧告」を発令。真夜中の避難勧告発令のため、明るいうちに避難できるよう早目の避難所開設や、避難バスの運行が必要と

思うがいかがか。  
また、利根川が氾濫すると市の8割が最大2mの浸水と

なり、防災倉庫も浸水するたため、避難所となる学校等の2階以上に防災備蓄を進めるべきと思うが、考えを伺います。

○市長公室長

利根川の水位は、日の入り以降に急激に上昇したため、明るいうちの避難所開設は難しい状況でした。今回の事案を教訓に開設時期等を検討していきます。備蓄については、分散備蓄をさらに進め、避難所施設内に配備できるように関係部署と協議を進めます。

このほか  
○高齢者が安心、安全に暮らせるまちに



台風 (イメージ)

**遺族の負担軽減のために、  
ワンストップサービス  
コーナー設置を**



大野とし子  
議員

市民から「高齢化社会を迎え、ご遺族の手続きの負担軽減のためにワンストップサービスコーナーを設置してほしい。」との声が届きました。

市の高齢化率は30%を超え、73世帯となり、まさに高齢化社会となつてきています。一方、ご遺族の手続きは18課42手続きとなっております。

そのような中、手続きがワンストップでできるようにと大分県別府市を皮切りに取り組む自治体が増えていきます。兵庫県三田市では、提出する書類に名前等を自動で印字し、詳しい説明が必要な場合は、各課の担当職員を呼ぶ仕組みとなつていて、遺族は窓口から動かなくて済みます。

高齢化社会となつてきている市にとって重要な施策と考えますが、市はどのようにお考えでしょうか。また、新庁舎建設にあたり、「人に優し

く、市民に親しまれる庁舎」にふさわしくご遺族のためのワンストップサービスコーナーの設置をと考えますが市の考えを伺います。

**○市民生活部長**

ご遺族の方の負担軽減を図ることは重要であると認識しており、現状でも必要に応じてワンストップサービスと同等の対応を行つていきます。設置の検討は、窓口における職員の丁寧な対応などにより、現時点で予定はありません。

**このほか**

○障がい者の居住の場の確保のために建設時に補助金を



窓口での案内 (イメージ)

**日本一幸せに子育て  
できるまちについて**



永田 飛鳳  
議員

春日部市は「日本一幸せに子育てできるまち」を目指し、さまざまな政策が行われています。そこで、日本一を掲げた14年間で、どのような子育てしやすい環境が整えられたのか伺います。

**○こども未来部長**

初めに、安心安全な子どもたちの居場所や遊び場の提供として児童センターや地域子育て支援拠点施設の充実に取り組んできました。児童センターは3施設、地域子育て拠点施設は13カ所設置し、多くの方に利用いただいています。次に、こども医療費助成制度の充実を図ってきました。

現在は入院・通院ともに中学校卒業まで行っており、来年4月からは入院の対象年齢を18歳年度末まで拡大する予定です。助成方法も窓口払いの全額廃止など、段階的に拡充を図ってきました。次に、保育施設の整備・充

実を図り、サービスの向上と待機児童解消に努めてきました。現在、保育施設は23施設から46施設となり、定員数もほぼ倍増しました。放課後児童クラブも全ての小学校等に設置し、保育時間も今年度からは19時まで延長したところです。また、子育て世代包括支援センター「ぼっぼセンター」を開設し、常駐する助産師等がさまざまな悩みや相談に対応し、市民の利便性の向上を図っています。

**このほか**

○ふるさとかすかべ応援寄附金推進事業について

**国保税は一人一万円  
引き下げを**



並木 敏恵  
議員

2018年度の国保会計決算は、6億7413万円もの黒字決算となりました。

2018年から始まった国保都道府県単位化は、これまで市町村ごとに負担していた医療費を県全体で負担することになりました。各市町村の納付金はかかった医療費に年

齢構成や所得水準などが加味されるため、これまでの医療費負担よりも県への納付金が多かったことによるものと考えますが、大幅黒字の理由をどう分析していますか。

県への納付金は負担能力に応じたもので、実際の医療費より納付金が低いのは、他市と比較して所得水準が低いからです。一方、所得の有無にかかわらず一人55800円の均等割は県下トップクラスの高さです。大幅黒字を使えば一人一万円の引き下げが可能です。高すぎる国保税の引き下げを求めますがいかがか。

**○健康保険部長**

国保財政の安定化が図られたのは、国の公費拡充が大きく影響していると考えています。しかし、繰越金については使途が決まっております。単なる余剰金ではありません。県内他市も同様の国県の支援を受けており、加入者の負担能力だけで支援の判断がされるものはありません。

現在も法定外繰入金を補填している状況で、国保税引き下げは厳しいと考えています。

**このほか**

○放課後児童クラブ常勤支援員は仕様書どおりに配置を



**台風19号を受けた、  
今後の水害対策について**



古沢 耕作  
議員

10月に発生した台風19号では、利根川が氾濫するかもしれないという危機に直面して避難勧告が発令され、市民の皆様は大変な恐怖に晒されました。そこで、今後の本市の水害対策について伺います。

①今回防災行政無線が聞きづらかったという声が非常に多かった。屋内で災害情報が聴ける防災ラジオを市民に配布する自治体が増えている。年配の方や障がいのある方にも配慮し、本市でも導入しては。

②現在の避難所運営基本マニュアルは、大地震を想定している。水害に特化したマニュアルを策定すべきでは。

③藤塚小学校は周囲の土地が低いため、台風19号の際も埼玉県道10号春日部松伏線側を除いた三方が冠水して避難所設置の妨げとなった。唯一、冠水しにくい県道側に、非常時の入り口を早急に設置するよう要望する。

○市長公室長

①受信状況の安定性やコスト面などの課題も多くあるため、情報伝達手段や導入事例の研究を進めていきます。

②市民の皆様からの意見等を取り入れるとともに、国等のガイドラインや指針、検討部会の報告などを踏まえ、避難所運営基本マニュアルの見直しを進めていきます。

○学校教育部長

③学校の防犯面等について慎重に検討する必要がありますが、学校や関係課と協議、検討し、安心安全の取り組みとして進めていきます。

**大人の風しんの  
予防接種について**



鬼丸 裕史  
議員

妊娠中に女性が風しんウイルスに感染すると、おなかの赤ちゃんが、目や耳、心臓に障害が出る「先天性風しん症候群」で生まれる可能性があります。その確率は妊娠初期に感染するほど高く、平成24〜25年にかけて全国的な風しんの流行により、45人の赤

やんが「先天性風しん症候群」と診断され、このうち11例は生後1歳3カ月までに亡くなっているということです。また、風しんの感染力はインフルエンザより強いため、予防接種が大変重要な施策となります。そこで以下伺います。

①手順と概要について②予防接種に関する取り組み状況③抗体検査が受けやすい環境の整備④今年抗体検査を受けていない人への対応について

○健康保険部長

①手順と概要については、対象者へ無料で受けるためのクーポン券が送付され、抗体検査の結果、抗体が一定基準に満たない場合に予防接種を受けるもの②6月初旬に案内資料や無料クーポン券などを送付し、広報かすかべやホームページにも掲載したところ③受けやすい環境整備については、職場周辺の医療機関など全国で受けられ、事業所の健康診断に併せて実施することも可能となっています④検査を受けていない人への対応については、広報かすかべに掲載のほか、来年度の対象者と併せて、再度無料クーポン券を送付することになっています。

**防災について  
（台風19号での避難所  
運営と弱者対策について）**



榛野 博  
議員

今回はあらかじめ警戒を要すると報道されていた台風19号について、以下伺います。

①自力避難困難者の避難はどうだったか②避難所において避難された方々への配慮と課題は③小中学校も避難所として使用されたが、避難者の誘導や避難所運営はどう対応されたのか④自主避難所や避難勧告後の避難所における課題と取り組み

○市長公室長

①近所の方に送迎してもらったなど共助の取り組みは確認できました②パーティション設置までは至りませんでした、滞在期間によってはプライバシーシースペースの確保等の配慮も必要と考えます③避難所として認知されている体育館の開錠と併せて、施設管理責任者である学校職員により、いつでも教室棟の2階以上が利用できる体制としました④自主避難所の課題は、開放施設

数が想定災害規模に適切だったか、開放のタイミングや周知方法が適切だったか。指定避難所の課題は、深夜の職員招集で開設準備に時間を要したこと、周辺道路が冠水する施設が多数あり避難行動に危険が伴うこと、適宜情報提供ができず、避難者に不安を感じさせたこと、ペット同行避難者への対応の難しさ等があります。こうした課題等について、十分検討し、防災対策に生かしていきます。

○このほか

○まちづくり市民活動について



避難袋 (イメージ)

**豊春西地区主要道路の  
安全性向上について**



水沼日出夫  
議員

近年豊春西地区では、県道さいたま春日部線等への抜け道として利用する車両や超大型貨物車の乗り入れが目立ち、地域交通環境への影響や安全対策の方向性が気になる毎日です。そこで、以下伺います。

- ①上野長宮線の概要と進捗状況
- ②周辺地域への影響と課題
- ③安全性向上への整備効果

○建設部長  
①上野長宮線は、都市計画道路慈恩寺古ヶ場線を起点とし、増戸地内の国道16号を終点とする延長約4110メートルの幹線道路です。事業の進捗は、事業主体の埼玉県に確認したところ、昨年度までの事業説明会や国道16号に右折帯を設置するなどの都市計画の変更、事業認可の取得を得て、本年度より用地取得に着手しており、今後は早期の工事着手に向け、用地取得に努めていくと伺っています。②長期にわたる未整備の影響で、周

辺をつなぐ生活道路等は、日常的に国道16号と東岩槻の南平野方面を結ぶ抜け道となつて久しく、特に朝夕の国道や県道の渋滞時に頻繁に通過することで、歩行者や自転車の円滑な交通の支障となつている状況です。③上野長宮線の整備により、広域的な幹線道路網が形成され、周辺の生活道路への大型車等の通過台数が減少することで、地域交通の安全性向上も大いに期待されるということです。

このほか  
○首都圏外郭放水路の活躍について



南平野地区交差点の現状

**新生児聴覚スクリーニング  
検査の公費負担について**



栗原 信司  
議員

新生児聴覚スクリーニング検査を行うことで、聴覚障がい の早期発見、早期治療が可能になります。これにより、コミュニケーションの形成や言語発達の面で大きな効果が得られると言われていますが、新生児聴覚スクリーニング検査は費用もかかることから、経済的理由なども含めて10人に1人の割合で検査を受診していないようです。

そこで、経済的支援をすることで100パーセントの受診を目指すべきと思いますが、経済的支援として公費負担ができないものか伺います。

○こども未来部長  
新生児聴覚スクリーニング検査は、新生児の早い時期に発見し早期に治療や療育につながることに、言語やコミュニケーション能力の発達を促すことができることから、全員が検査を受けることが望ましいと考えています。しか

し、経済的な理由により検査を受診しないご家庭があることも事実です。そのため、新生児の全員が受けるようになるためには、費用を助成することは大変効果が期待できると考えています。県において、1都6県の医療機関と一括契約する方向で検討を進めていると伺っていますので、県の動向を注視し、公費助成の実施に向けて検討していきます。

このほか  
○子どもの貧困対策計画の策定について

○公共事業の施工時期の平準化・適正工期の確保について

**残業代未払い問題について**



岩谷 一弘  
議員

11月21日の新聞に春日部市の超過勤務手当（残業代）の未払い問題が掲載されました。主な内容としては、生活支援課職員40人、延べ79人に対し、過去2年間で4982時間分、およそ1109万円の未払いがあったというもので、これに利息を合わせた約1245

万円が本会議に補正予算として上程されています。さらに、庁内3分の1にあたる27課で残業代の調整が行われている可能性が指摘されています。

既に、石川市長の謝罪文が発表されていますが、今回議会に提出された中間報告においては、私は必要な部分が2カ所欠落していると思っております。一つは、残業代の調整が組織的に行われていたかという点、もう一つは、この問題の責任を一体どなたがとるのかということですが、市民の皆様、職員の皆様、我々議員の信頼を取り戻すためには、弁護士や社会保険労務士などを含めた有識者による第三者調査会を今回設置をいただきたいと思っております。市長の考えを伺います。

○市長  
引き続き公平公正な調査を進め、関係法令に基づき適正な対応を図っていきたくと考えています。

審査の第三者の関わりについては、副市長が答弁したように、今後の調査の過程で検討させていただきます。

このほか  
○深刻なムクドリ対策について

子どもたちの文化芸術活動  
への支援について



一 佐藤 議員

春日部市内の小学校では表現運動やダンスに取り組んでおり、中学校では24年度よりダンスが必須になりました。そこで、これまで小・中学校で取り組んできた成果と課題を伺います。

また、公民館を利用する市内ダンスサークルのジャンル別の数および利用者延べ人数を伺います。併せて、「公民館フェスティバル」等において春日部ダンスフェスティバルを開催できないか伺います。

○学務指導担当部長

成果としては、表現運動やダンスを通して表現力や身体感覚、コミュニケーション力を高め、運動に親しむ資質や能力の基礎が育まれています。教員の指導力向上など学校において進めていくべきことはありますが、今後も体育の授業を通して表現や運動を楽しみ、運動に親しもうという子どもたちを育てていきます。

○社会教育部長

ヒップホップ8団体、フラダンス3団体、クラシックバレエ3団体、チアダンス1団体、ソーラン1団体の16団体で、30年度で年間延べ約3万人の子ども達が利用しています。公民館フェスティバルは利用団体による合同発表会として毎年行っています。開催については、団体の皆さまの意向などを十分にお聞きしながらイベント等の実施について方向性を見極めていきます。

このほか

○令和2年度当初予算編成について

中之堀川について



美久 河井 議員

中之堀川は、本市の西に位置し、立野小学校付近から南へ流れ、増田新田地で一級河川新方川に合流する準用河川です。市内の河川や水路を見ると土砂が堆積して、川底が浅くなった水路や堆積した土砂に草が繁茂し、水路の流れを阻害していると思わ

れる箇所を見かけます。

中之堀川についても、特に大増中学校や春日部共栄高校辺りは土砂が堆積しているのではないかと思われる、土砂を取り除いたら水の流れが良くなり、被害が軽減すると考えています。市では、のり面が崩れている箇所を補修するために護岸工事を行っています。中之堀川の土砂のしゅんせつおよび現在行っている護岸工事などの維持管理について、市の考えを伺います。

○建設部長

中之堀川の維持管理については、下流側の未整備区間において除草を実施しているほか、のり面が崩れている箇所を補修する工事を年次的に実施し、水路の機能の維持に努めています。今後も補修工事を実施する予定です。また、土砂のしゅんせつをはじめ、除草やスクリーンの管理等について、河川の流下能力の確保が重要であり、パトロールや市民の方々からの通報により、状況に応じた対応を行っています。今後も、浸水被害を軽減するため、河川の適正な維持管理に努めていきます。

このほか

○会之堀川について

予防医療について



美洋 荒木 議員

肺炎は高齢になるほど重症化しやすく、高齢化に伴い年々死者数も増加しています。そこで、国は肺炎予防のために、2014年から肺炎球菌ワクチンの定期接種制度を開始しました。対象者は65

○健康保険部長  
今年度65歳になる方にとっては一度きりの機会であるため、大切な情報を一人一人に確実に伝える必要があると考えています。未接種者のうち今年度中に65歳になる方を対象に高齢者用肺炎球菌予防接種の勧奨はがきを送付する準備をしており、令和2年1月中には発送したいと考えています。

このほか

○子ども・子育て支援事業について

○がん患者に対する相談支援体制について



フコチン接種 (イメージ)

球菌ワクチンの定期接種制度を開始しました。対象者は65歳から100歳までの5歳刻みの各年齢になる方で、生涯に1回だけ制度を活用した接種が可能で、国は本年度から5年間経過措置の延長を決定しました。今回70歳以降の対象者の方は、2回目の通知を受け取っていることとなります。そうしますと、今回65歳の対象者にも年度末頃に未接種であれば、再度通知を実施することが情報周知の公平性の観点からも、昨年度までとは違う更なる接種率向上の取り組みとしても必要不可欠と考えますが、新65歳の対象者にコール・リコール対策(再通知)を行っていたきたいと思いがががが。

## 大規模水害を想定した 災害対策の充実を



卯月 武彦  
議員

今秋の台風15号、19号の教訓から、水害対策について充実が求められます。

例えば、幸松地区では利根川が決壊した場合、ほとんどが水没し避難所には入りきれない恐れがあります。水深1メートル未満の地域の住民には垂直避難をお願いすることや、避難所に入り切れなくなった人をバスで移送すること、避難所から遠い地域は早い段階に車で避難することなど、地域別に具体的な避難計画を作成すべきではないか。

ブルーシートや救助用ボート、食料、毛布など備蓄・備品の充実が必要ではないか。また、防災倉庫の浸水対策が必要ではないか。

### ○市長公室長

洪水の場合は、避難勧告などの情報をもとに避難していただくこととなりますが、避難勧告の発令地域や避難所の開設場所については、氾濫の

恐れがある河川によって異なります。市民の方一人一人が事前に備え、地域の危険箇所を把握しておき、安全な避難経路を選択して避難していただくことが重要であり、声をかけ合いながら一緒に避難する共助の取り組みも重要であると考えています。

備蓄計画は地震を前提にしており、現在、国において台風19号等に関する検証を進めていて、その結果を踏まえ、必要な見直しを行いたいと考えています。

### このほか

○生活保護行政の充実を



河川決壊 (イメージ)

## 交通弱者を含む 交通利便性向上について



木村 圭一  
議員

交通弱者や来訪者を含むあらゆる人にとって移動しやすい市内公共交通のさらなる向上を目指す取り組みとして、

出発地点から目的地まで電車、バス、タクシー、シェアサイクル、カーシェア等のモビリティを使ったルート検索、予約、決済まで一つのサービスとして提供する日本版Maasが各地で行われています。本市でもこのような取り組みを進められないか、二次交通としてシェアサイクルを行うてはどうか、免許自主返納者に助成ができないか伺います。

### ○都市整備部長

Maasについては、民間事業者の実施するサービスと連携を行うことで、大きな効果が期待できると捉えています。今後も公共交通の利便性向上につながるよう国や県、民間事業者の取り組みを注視し連携を図っていきます。シェアサイクルは利用困難な方

も多く、季節や天候の影響で使用できない場合もあり、課題が多いと認識しています。

### ○市民生活部長

免許証を自主返納した方への支援策導入は、もともと持っていない方との公平性や財政負担を勘案して現時点では難しいと考えますが、市全体の課題として捉え、今後どのような取り組みが有効か見極めていきたいと考えています。

### このほか

○浸水する地域の対策について

○ムクドリ対策について

○ペット同行避難について

## 包括的連携協定について



栄 寛美  
議員

越谷市では地域連携協定の取り組みの一環としてイオンリテール株式会社と連携し、ご当地W A O Nカードの「越谷まるこW A O N」を発行しています。これは、市内商業者の売り上げ向上を目指し、このカードを利用した支払い額の0.1パーセントがイオ

ンから市に寄付され、越谷の未来をつくる子どもたちを応援する施策に活用されるというものです。イオンの持つスケールメリット、資源を活用し、地域の連携や寄付によるまちづくりの推進という循環の仕組みを作り上げているのが特徴で、成果を上げている連携の例であると考えます。

春日部市もイオンと児童を対象とした読書感想文コンクールで連携しましたが、越谷市とは差があると考えます。そこで、春日部市では協定締結前に連携内容、解決策をどのように考え、決めているのか伺います。

### ○総合政策部長

包括的連携協定の締結に当たっては、事前に協議を重ね、本市と大学や民間事業者等がウイン・ウインの協定内容となるよう努めています。また、連携事項については第2次春日部市総合振興計画の基本目標をベースとし、これらの分野に対し総合的な連携を図ることができると期待しています。

### このほか

○春日部駅西口地域のまちづくりについて

○自治会の加入促進について

春日部市の行財政改革  
についで



吉田 稔  
議員

臨時財政対策債は、春日部市が交付額を国に申請できる借金で、平成30年度では、交付（借金）総額は374億2484万6000円になります。今までの申請額の流れと今後の申請に対する考え方を伺います。また、令和2年度の予算編成について伺います。

○財務部長

借入額の決定については、平成13年度の制度導入以来、発行可能額のおおよそ全額を借り入れてきたもので、市税などの自主財源や国、県の補助金を可能な限り見込み、歳出予算を精査して収支不足額を最大限圧縮すると同時に、将来にわたる償還費用などを勘案しているところです。

臨時財政対策債は、償還に要する費用を後年度の地方交付税で措置されるため、有利な起債として活用してきましたが、地方債残高が増える要因にもなることから、今後は

他の財源も考慮しながら慎重に判断したいと考えています。

○市長

令和2年度は、第2次総合振興計画が3年目を迎えます。現在、春日部駅付近連続立体交差事業をはじめとした大規模事業が力強く動き出し、来年度はさらに前へ進みます。こうしたチャンスを生かし、持続可能な財政運営に留意しながら本市の魅力を発信できる施策を積極的に展開していくことが重要と考えています。

このほか

○宝珠花・富多両小学校跡地のその後について

赤沼・銚子口地区  
産業団地整備並びに  
東埼玉道路整備について



海老原光男  
議員

東埼玉道路は、国道4号バイパスの交通混雑の緩和をはじめ、都心あるいは地方への交通の利便性向上や、市内の交通混雑の緩和を目的とする八潮市の外環道から庄和ICに至る地域高規格道路です。国の直轄事業ではありませんが、建設促進に向けて、地元市と

しての取り組みを伺います。また、その周辺整備として赤沼・銚子口地区産業団地整備が進められています。今後の進め方について、アクセス道路整備も含めて伺います。

○建設部長

東埼玉道路の周辺自治体で構成する同盟会の会長市として自動車専用部の早期事業化、事業中區間の早期完成および国道16号から圏央道までの延伸について国に要望を行っております。また、県知事、県議会等にも要望を行い、同盟会の取り組みにご協力とご支援をいただいております。

○都市整備部長

県では土地利用計画の見直しを行うとともに、国および警察との交通協議を進めています。市では県の土地利用計画に合わせて農業振興地域、農用地区域の除外に向けた農林協議に取り組み、権利者からの合意書取得に取り組んでいきます。また、アクセス道路については、決定ルートを中心に関係機関との交通協議を進め、測量や地質調査、道路詳細設計により整備位置を確定させていきます。

このほか  
○公用車について

#(ハッシュタグ)を  
活用し、みんなで災害時の  
助け合いの心を！



石川 友和  
議員

過日、台風19号時の春日部市からの情報発信は、主に文字や言葉での情報発信でありました。ツイッターの#を上手に活用すれば、市民と危険箇所を写真や動画などで共有することで市はさらに災害対策に大いに生かすことができ、市民は避難するときの判断材料になると思います。実際に埼玉県では今年度より「#コバトン防災」という取り組みで、#を利用して情報発信や情報量の確保に努めています。この#の有効性について、市はどのように考えているか伺います。

また、今後活用していく考えについて伺います。

○市長公室長

災害時に決められたハッシュタグを入力して投稿することで、春日部市の防災情報だけに絞り込んだ投稿を閲覧することが可能となります。こ

うした活用により、市と市民の双方が危険箇所を共有でき、市は災害対策に、市民の方々は避難等の判断材料に活用することが期待できることから、有効な手段の一つと考えています。

そのため、本市においても、今後、課題への対策や活用いただくための周知方法などについて、県や他市の活用事例を参考に検討し、有効な情報ツールとして導入を目指したいと考えています。

このほか

○春日部市の交通指導員さんについて



春日部市 @KasukabeCity\_PR · 3時間  
【公民館フェスティバル「親子コミュニティ」】  
12/8(日)の9:30~15:00に、粕壁南公民館で開催。内容はバンドやマンドリンの演奏、子ども舞踊、折り紙、お茶会、お菓子作り、昔の遊びなど(一部コーナーで要整理券)。家族や友だちと遊びに来てくださいますようお願い合はせは、同館(☎048-738-0088) #春日部

2 3  
# (ハッシュタグ)  
ツイッターハッシュタグ (イメージ)

英語教育について



山口 剛一  
議員

2020年度から学習指導要領が見直され、小学3・4年生では外国語活動が、5・6年生では外国語科が日本全国の小学校で始まります。私は11月12日に行われた粕壁小学校英語科研究発表会に参加し授業を見学させて頂き「学びとは、本来楽しいものである」ということを思い出しました。その光景はとても衝撃的であり、感動的なものでした。そこで以下伺います。

①先進的と言われる粕壁小学校の英語教育の取り組み内容  
②来年度以降の市内小学校間の格差解消に向けた取り組み  
③英語学習に取り組んでいる児童を受け入れる中学校の体制づくりについて

○学務指導担当部長

①9分間の短時間学習を毎日継続して行うことで音声やリズム、表現に慣れ親しむことに加え、週1回、45分の授業も行っています。これらの活



動を通して、時代が求めるグローバルな人材の育成に向けて英語教育を進めています。

②教員の指導力向上や授業改善に向けた研修会の実施、英語指導助手の全小学校への配置により授業の充実に向けた支援を行っています。

③中小学校の交流をさらに充実することや小学校の英語教育についての情報を適宜提供するを通して、小学校からの学びを効果的に引き継ぐ中学校の体制づくりを推進していきます。

このほか

○市内産業の育成について

**市議会ホームページのご案内**

市議会ホームページがスマートフォンやタブレット端末でもご覧いただけます。

合計	13	11	10	6	4	12 / 3	29	27	11 / 25	月日	今定例会傍聴状況
117	1	13	51	18	10	22	0	0	2	傍聴者数	
	討論・採決	一般質問	一般質問	一般質問	一般質問	一般質問	委員会	質疑	上程・説明	主な日程	

他議会からの視察受入状況 (平成31年1月～)

No.	来庁日	来庁議会	視察内容
1	平成31年 1月23日	静岡県御殿場市議会	かすかべ未来研究所について
2	平成31年 1月24日	神奈川県藤沢市議会	官学連携団地活性化推進事業について
3	平成31年 1月29日	宮城県富谷市議会	シティセールス戦略プランについて
4	平成31年 3月20日	宮城県気仙沼市議会	本庁舎整備事業について
5	令和元年 5月16日	島根県益田市議会	学力向上対策について/中央公民館を中心とした公民館活動について
6	令和元年 7月10日	新潟県上越市議会	春日部市立医療センター整備の経緯と病院の特色について
7	令和元年10月 3日	新潟県上越市議会	武里公隣防災対策連絡協議会における防災の取組について
8	令和元年10月17日	大阪府寝屋川市議会	人口対策について (シティセールス及びかすかべ未来研究所の取組と総合戦略との関わりについて)
9	令和元年10月24日	静岡県富士市議会	病院の建て替えについて
10	令和元年10月30日	沖縄県うるま市議会	かすかべ未来研究所について
11	令和元年11月 5日	山形県米沢市議会	かすかべ未来研究所について
12	令和元年11月 7日	岡山県瀬戸内市議会	シティセールスについて/公共施設を活用した観光ツーリズムについて
13	令和元年12月17日	愛知県豊橋市議会	小学校の先進的な英語の取り組み

昨年もたくさんの市議会が、本市の特色ある事業等を視察に来ています。

## 常任委員会行政視察

(◎委員長 ○副委員長)



総務委員会 (福津市)

◎鈴木 一利 ○柴 寛美 卯月 武彦  
金子 進 荒木 洋美 山崎 進  
海老原光男



厚生福祉委員会 (大分市)

◎水沼日出夫 ○山口 剛一 並木 敏恵  
鬼丸 裕史 滝澤 英明 永田 飛鳳  
栗原 信司 中川 朗



建設委員会 (久留米市)

◎木村 圭一 ○今尾 安徳 井上 英治  
坂巻 勝則 佐藤 一 古沢 耕作  
河井 美久 岩谷 一弘



教育環境委員会 (岩国市)

◎石川 友和 ○吉田 稔 酒谷 和秀  
榛野 博 大野とし子 松本 浩一  
小久保博史 武 幹也

### 閉会中の委員会活動

#### ▽総務委員会

10月16日～18日

#### ・行政視察

○福津市 (SDGs未来都市計画について)

○下関市 (フェイスブックジャパン(株)との事業提携について)

○宇部市 (シテイセールス事業について)

#### ▽厚生福祉委員会

10月23日～25日

#### ・行政視察

○大分市 (ホルトホール大分について)

○中津市 (中津市乳幼児教育振興プログラム「あそびのすずめ」について)

○北九州市 (北九州市認知症支援・介護予防センターについて)

#### ▽建設委員会

10月16日～18日

#### ・行政視察

○久留米市 (主要浸水対策事業について)

○諫早市 (諫早駅周辺整備事業について)

○長崎市 (長崎駅周辺再整備事業について)

#### ▽教育環境委員会

10月15日～17日

#### ・行政視察

○岩国市 (愛宕スポーツコンプレックスについて)

○周南市 (中心市街地活性化(徳山駅前賑わい交流施設)について)

○北九州市 (ミクニワールドスタジアム北九州について)

#### ▽議会運営委員会

11月12日～14日

#### ・行政視察

○姫路市 (市議会の広報・PR活動の展開について、高校生議会について)

○四国中央市 (議会改革の取組について)

○伊予市 (新庁舎整備に伴う議会棟の設備について)

11月20日  
・令和元年12月定例会の運営について

#### ▽全員協議会

11月11日

・春日部市本庁舎整備実施設計(案)中間概要版について

#### ▽広報広聴委員会

12月20日

・議会だより第58号について

1月6日

・議会だより第58号について



会田幸一議員が、令和元年12月19日逝去されました。享年71歳。  
会田幸一議員は、平成10年に庄和町議会議員に初当選し、平成14年に総務文教委員長に就任され、合併後の春日部市

## 会田幸一 議員が逝去

議会においても、平成20年と26年に議会運営委員長、平成25年と30年に議会改革検討特別委員長に就任するなど要職を歴任されました。  
また、平成22年と28年に市議会議長に就任され、6期連続当選、約21年という長きにわたり、市政の発展に尽力されました。  
故人の生前のご功績をしのび、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

## 傍聴にお越しく下さい

定例会・臨時会の傍聴を希望される方は、市役所本庁舎3階の傍聴者受付で、住所及び氏名をご記入の上、傍聴券を受け取り、傍聴席に入場してください。傍聴席は56席（車イス傍聴席2席を含む）となります。  
会議は、通常、午前10時から開催いたします。

## 政務活動費 収支報告一覧の公開

政務活動費は、地方議会議員の調査・研究などの活動に資するために交付されています。  
政務活動費の収支報告一覧および会派等ごとの領収書は市議会ホームページで公開しています。  
なお、政務活動費の収支報告一覧等は、市役所別館1階市政情報室でも閲覧することができます。

## 傍聴して一言

敬老会の贈呈品菓子類についての議員の意見（市内業者の重視）に同感です。  
性別・年齢未記入

初めて傍聴させていただきました。今まで全く関心のない行政のことなど広報等しっかり読んでみたいと思いました。  
女性・年齢未記入

防災対策、大変重要なことだと思えます。ひとごとではなく、しっかりとした対応に期待します。今回は地下神殿のおかげで大変助かりました。  
女性・76歳

初めて傍聴しましたが、発言者以外の議員の態度の悪さが気になりました。真剣に人の話も聞いてほしいです。広く多くの方に現状を見てほしいです。子育て支援で知らないこともあり、勉強になりました。  
女性・50歳

※割愛させていただいた部分もあります。

## 編集後記

寒さ厳しき折、市民の皆さまにおかれましては、健やかにお変わりなくお過ごしでしょうか。

12月定例会における市政に対する一般質問では、昨年10月に発生した台風19号の被害を受け、多くの議員が本市の災害対策、特に、風水害への対応について取り上げました。今回の台風時の対応に関し、市民の皆さまから頂いた多くのご意見に真摯に耳を傾け、さらなる風水害対策に取り組みよう、議会として行政に働き掛けてまいります。

また、今定例会では、ひとり親家庭等医療費の支給件数の増加に伴う歳出を含む補正予算を可決したほか、全国的に社会問題となつている危険な「あおり運転」への対応強化のため早急な法整備を行うよう政府に求める意見書、また、太陽光発電施設の設置に関する意見書を、全会一致で採択しました。

昭和39年以来、国内で56年ぶりに夏のオリンピック・パラリンピックが開催される令和2年が、皆さまにとって思

い出深く、素晴らしい年になるよう、議員一同、心より願っております。

### 広報広聴委員会

- |        |       |
|--------|-------|
| 委員長    | 古沢 耕作 |
| 副委員長   | 坂巻 勝則 |
| 委員     | 榛野 博  |
| 委員     | 石川 友和 |
| 委員     | 今尾 安徳 |
| 委員     | 吉田 稔  |
| 委員     | 鈴木 一利 |
| 委員     | 武 幹也  |
| オブザーバー |       |
| 議長     | 金子 進  |
| 副議長    | 海老原光男 |

〒344-8577

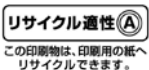
埼玉県春日部市中央六丁目2番地

春日部市議会

TEL 048-736-1111 (代表)

内線 3116

次の定例会は  
2月20日(木)  
開会予定です



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。